

ボールの特性レポート

BALL REPORT



| | | | | | |
|------|-----------|-----|-------|-----------------------|-----------|
| ボール名 | レース・ピー・セン | 投球者 | 徳江 和則 | センター | 平和島スターボウル |
| RG | 2.580 | △RG | 0.049 | ●ピン ★PAP ✕CG ■バランスホール | |

テストボール：レース・ピー・セン

フレアーの幅 インチ

表面加工

箱出し状態

加工

ペーパー

ポリッシュ

研磨剤

PAPからピンとの距離

4-1/2 インチ

番

比較対照ボール：パープル・レンジャー

フレアーの幅 インチ

表面加工

箱出し状態

加工

ペーパー

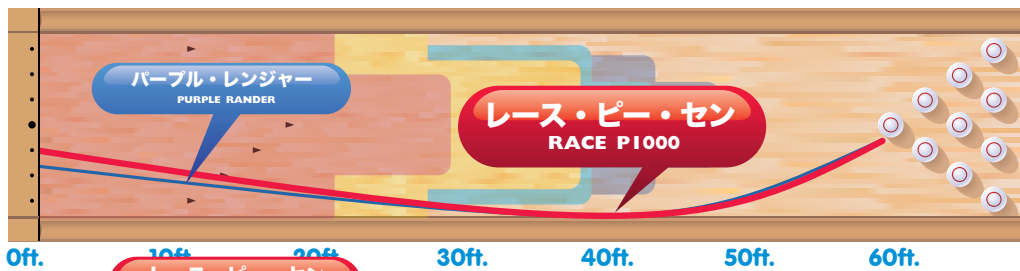
ポリッシュ

研磨剤

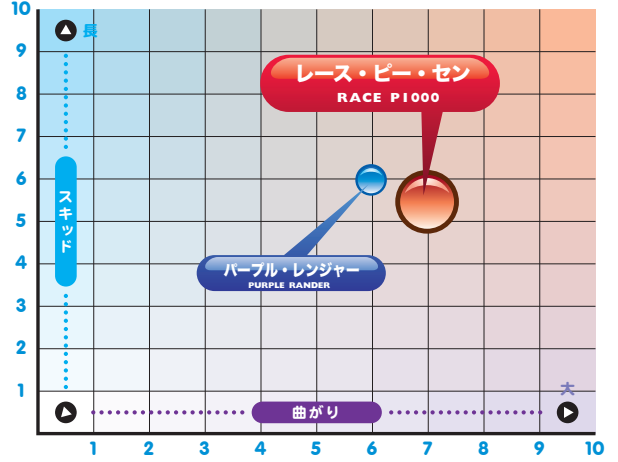
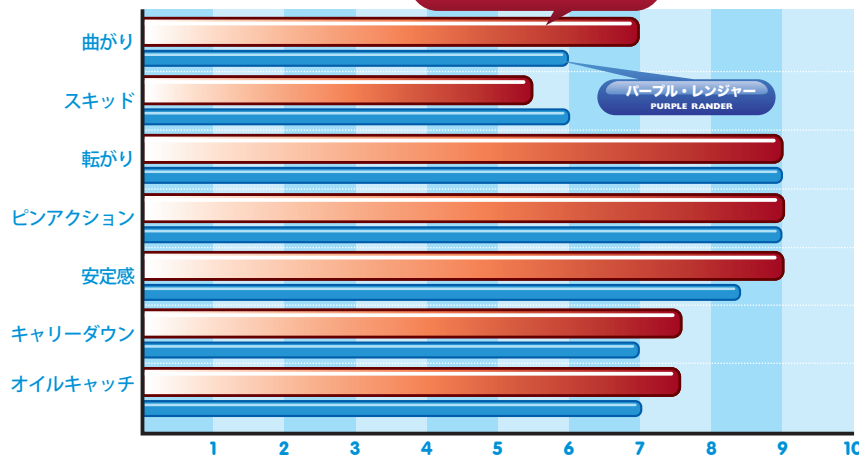
PAPからピンとの距離

4-1/2 インチ

番



- ヘビー
- ミディアム
- ライト
- バフ



レーンコンディション: Light Oil, Light to Medium, Medium Oil, Medium to Heavy, Heavy Oil

バックエンドリアクション: Smooth, Smooth to Arc, Arc, Arc to Sharp, Sharp Angle

レングス: Early Roll, Early to Med, Med-Lane, Med to Late, Late Roll

ボールの評価

先月発売されたコロムビア社C300につづくABSが皆様にも自信をもってお勧めするミディアムライト領域で迷わないボールとして、C300(COLUMBIA)、T800(TRACK)、P1000(Pro-Am)のリリースが決定されました。

今回はPro-Amブランドで練りに練りつくされた拘りのボールP1000を紹介します。

P1000の一番の拘りは「ただポケットまで運べれば良い」とか「遅くなったときに使える」とかそんな安易なボールではありません。みなさんがお気に入りのボールに描く「信頼」や「安心感」。それにはやはり相応の局面の中に「結果」という経験も残らなければ、大事な局面でそのボールはチョイスされないでしょう。その中で重要なのは「期待を描ける性能か否か」であろうと思います。しかし多分皆さんは分っているはずで、ボールはゲーム数をこなす中で期待を培うものではなく、「使ってから良さを直感的に感じるものだ」と。その期待を実感させられるのは、Skid、Hook、Roll、ピンキャリーすべてのトータルバランスを総合的に自己評価したとき、このボールが加わることで、今の自分にどれだけの期待値が上がるか。

そうしてみんな数多くのボールの中から自分にあったレポーターを組んでいくのだと思います。その感じをみなさんがP1000を投げ検証をしたとき、または他の人が投げているのを見た時に感じて頂けるかが私たち開発チームの勝負の瞬間です。

ミディアムコンディションで要のボールとして開発されましたので、如何に領域の幅広さを感じて頂けるか。

掴み過ぎても走り過ぎることもなく、「万能性」がRACE P1000の売りでもあります。困った時にはRACE P1000を手取る。

またはこれぐらいのオイルならRACE P1000を投げられると思って頂けるように、クラス最高峰のボールを目指して作成致しました。

特記事項

ミディアムコンディション以下になったらこのボール!と云わしめるボールを追及してRACE P1000を発売します。投球すれば皆様のボールレポーターの中に必須に加わるボールとなるでしょう。